



Canon Chemicals Inc.

The background of the title section features several line drawings of Canon chemical components. These include three individual pens or cartridges, a long horizontal component with multiple internal channels, and a complete Canon printer unit with the brand name visible on its front panel.

企業理念 共生

キヤノンの企業理念は「共生」です。

私たちは、この理念のもと、

文化、習慣、言語、民族などの違いを問わず

全ての人類が末永く共に生き、共に働き

幸せに暮らしていける社会をめざします。

しかし、経済、資源、環境など

現在、地球上には共生を阻む

さまざまな課題があります。

キヤノンは、共生に根ざした企業活動を通じて

これらの課題の解消に積極的に取り組んでいきます。

真のグローバル企業には、顧客、地域社会に対しては

もちろん国や地域、地球や自然に対しても

よい関係をつくり社会的な責任を

全うすることが求められます。

キヤノンは「世界中の繁栄と人類の幸福のために

貢献していくこと」をめざし

共生の実現に向けて努力を続けます。



技術とともに歩み続ける。

キヤノン化成は、1950年に操業を開始、カメラ部品や光学用塗料の製造からスタートしました。

現在は、プリンターの心臓部であるカートリッジの、トナーや感光体といったファインケミカル材

から、高分子精密機能部品の製造、最終製品の自動組立までを行う、化成品量産会社として

成長してまいりました。中でも、高分子精密機能部品に関しては、高い生産技術力と高品質な

モノづくりを駆使し、世界のお客様に良質な製品をお届けしております。

また、当社の強みである、光学用塗料や機能性ゴムの技術を生かした、新たな事業にも取り組

んでおり、より一層の飛躍を目指してまいります。事業所は、茨城県のつくば市と笠間市にあり、

SDGs達成への取り組みなどを通じ、キヤノングループ共通理念である「共生」のもと、地域社

会への貢献も果たしていきます。私たちは、魅力的な製品を作り続けるために、これからも技術

に磨きをかけ、お客様とともに未来を創造してまいります。

今後とも、皆様の温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

キヤノン化成株式会社

代表取締役社長 久保 敦史



3

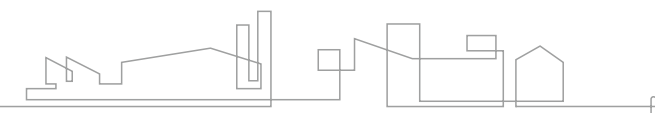
歴史がつなぐ「人」と「技術」

キャノン化成株式会社は1992年、キャノンケミカル株式会社とキャノン精工株式会社が合併して誕生しました。

歴史がつないだ人と技術が、キャノン化成の今日の確かな“ものづくりの力”となり、常に新たな事業を創造しながら、あらゆるフィールドに挑戦し続けています。高性能、高品質な生産を実現し、世界中のお客様へ製品をお届けしています。

4

未来につながるその先へ



画像形成

Assort

1

圧倒的な「生産技術力」
高品質を実現するのは



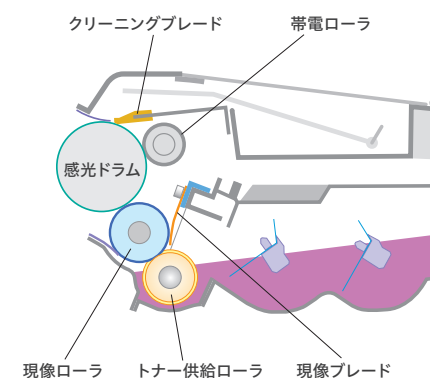
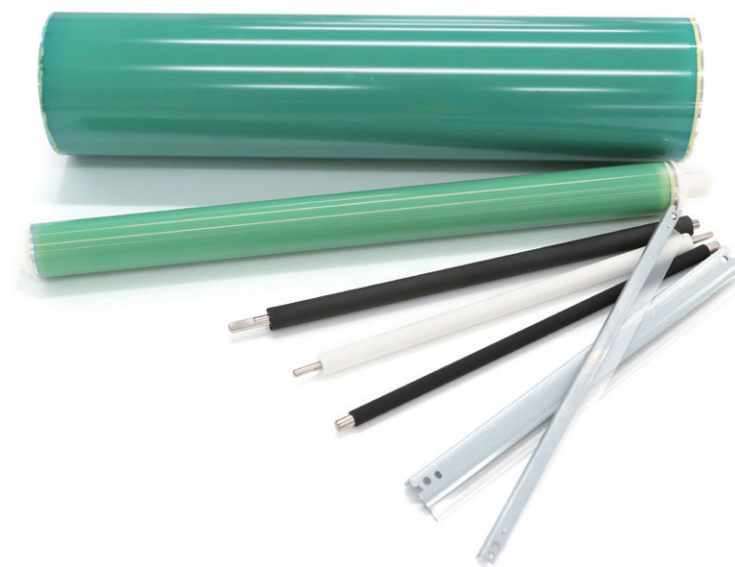
トナーカートリッジ

キヤノンは世界で初めて複写機の心臓部にあたる画像形成部をカートリッジ化することに成功しました。従来メンテナンスが必要であった画像形成のキー部品をトナーの消費に合わせて交換することで、メンテナンスの簡易化、本体のコンパクト化を実現しています。以来、高速、小型化、高精細な画像を追求し、トナーカートリッジの品質も日々高度な生産技術が求められてきました。キヤノン化成では、ロボット化と知恵を活かした組立ての自動化ラインで、低コスト、高品質のカートリッジを作り続けています。



01 人間に頼らない、知恵を持った装置

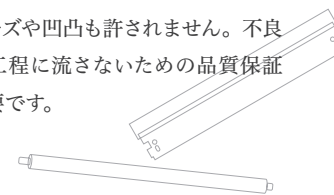
トナーカートリッジを組み立てていく中で、人間の手作業でしかできない繊細な作業がいくつか存在します。そのような工程を自動化するためには、装置に“知恵”をつけないければなりません。例えば、人間と同じような動きができる垂直多関節ロボットや、自動検査カメラを使って作業が難しい工程を自動化しています。



〈トナーカートリッジ断面図〉

02 仕上げの品質を大きく左右する部品

高分子精密機能部品には、現像ローラ、帯電ローラ、クリーニングブレードなど、さまざまな部品があり、それぞれが製品の信頼性と機能の鍵を握っています。目に見えない数ミクロンのキズや凹凸も許されません。不良を後工程に流さないための品質保証も重要です。

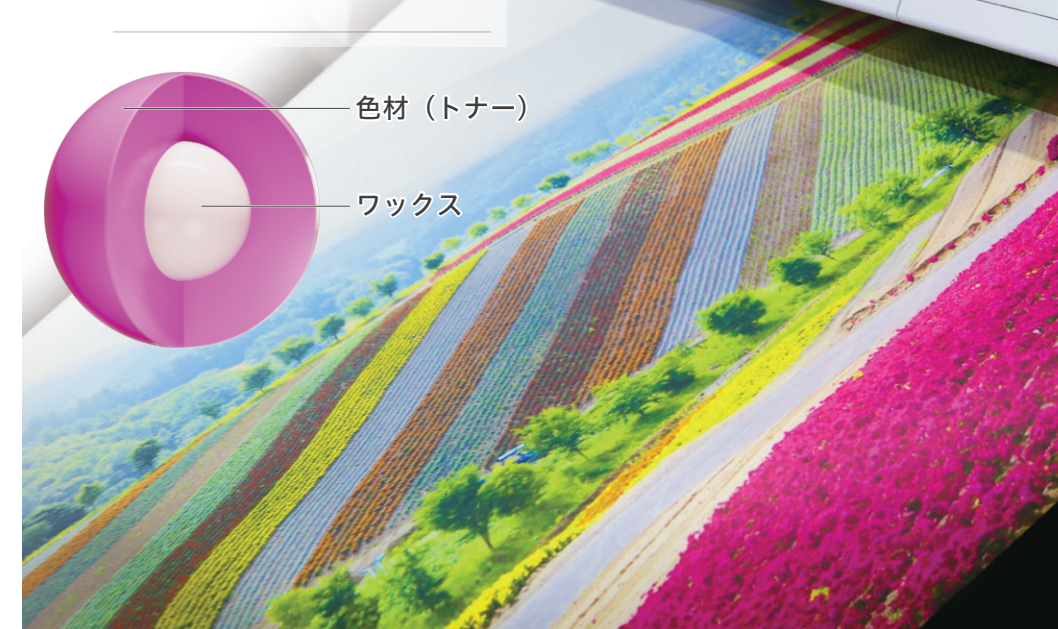
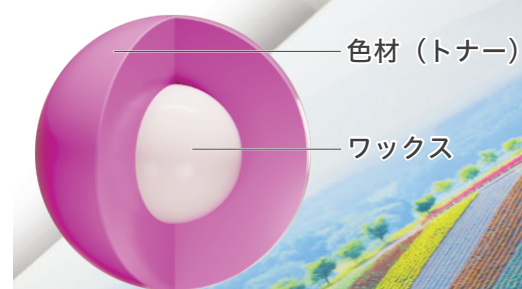


高分子精密機能部品

レーザービームプリンターの画像形成プロセスを担うキーとなる部品（通称キーパーツ）の生産を行っています。キーパーツは高分子材料を精密加工技術によって成形するもので、その機能性能はプリンターの印字品質を大きく左右します。キヤノン化成では、キヤノンのトナーカートリッジに使われるあらゆるキーパーツを生産し、国内外のトナーカートリッジ組立拠点に供給しています。キヤノン化成は高分子材料を扱うノウハウと高い精密加工技術、量産技術力によって、全世界のトナーカートリッジ生産を支えています。

03 美しい画像の源は、超微粒子トナー

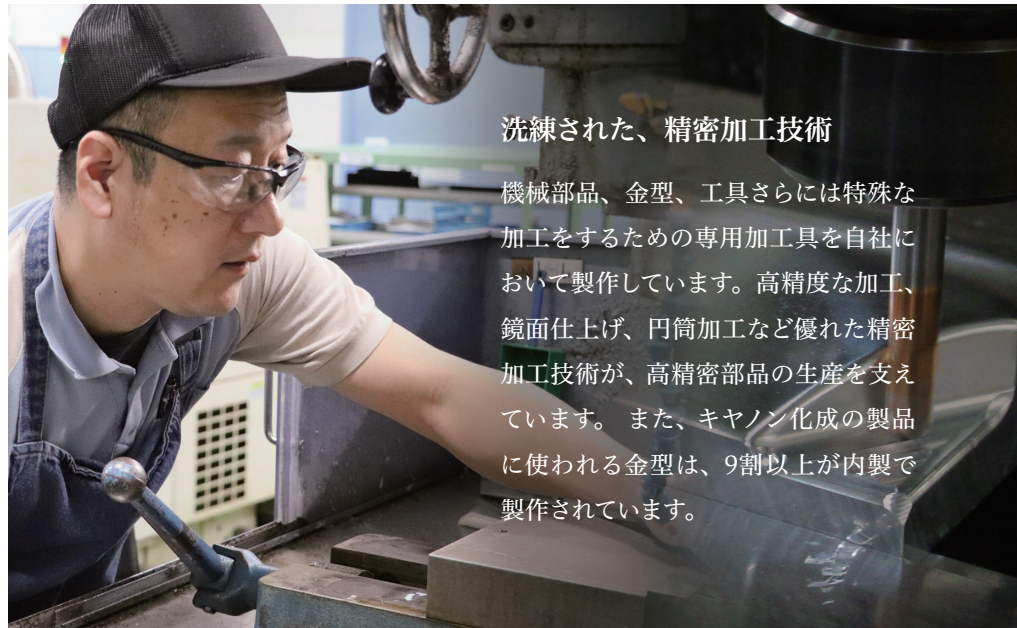
繊細な画像を作り出す数ミクロンの球体、それがSトナーです。Sトナーは、重合法により、トナーにワックスを内包させたカラートナーです。マイクロカプセル構造を持つ超微粒子で一つひとつが同じ大きさの真球形。そのため、シャープなエッジ表現が可能です。キヤノン化成は、次世代を担うSトナーの製造拠点です。



匠の 形成

Assort 2

優れた「精密加工技術」
高精密部品の生産を支える



洗練された、精密加工技術

機械部品、金型、工具さらには特殊な加工をするための専用加工具を自社において製作しています。高精度な加工、鏡面仕上げ、円筒加工など優れた精密加工技術が、高精密部品の生産を支えています。また、キヤノン化成の製品に使われる金型は、9割以上が内製で製作されています。

04

切削加工



豊富な経験と技術で、多種の切削工具を使い、複雑な形状の加工をする

05

樹脂複合加工



扱いの難しい樹脂加工技術は、熟練された技術力で顧客希望の寸法公差に対応

06

研削加工



砥石を使い、加工面をなめらかな面に仕上げたり、焼入鋼・超硬合金など硬い材質の加工が可能

07

旋盤加工



円柱状や円錐状の部品の製作に優れており、高い精度度での寸法調整や面粗度の管理が可能

08

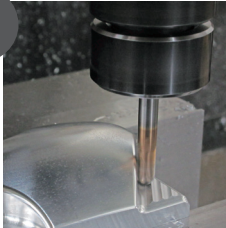
ホーニング加工



円筒状の金型内面を研削加工で仕上げ、表面粗さを細かくし高精度の加工面を造る

09

金型加工



豊富な技術力と各種装置を使い複雑な形状、各種金型の製作が可能

10

鏡面研削加工



一般研削 Ra 0.8



鏡面研削 Ra 0.01

キヤノン化成の鏡面研削加工は、金型表面の凹凸を極限まで減らすことにより、各種製品の品質が格段に向上します

品質 保証

Assort 3

100%の「品質保証」
安心と信頼をつくりこむ



キヤノンクオリティ

キヤノンの品質の基本理念は、「企業理念および企業目的に基づき、ノークレーム・ノートラブルの実現をめざし、企業の発展と社会の繁栄に寄与すること」です。キヤノンがめざす品質とは、お客様の「安全」「安心」「満足」を実現すること。これらの実現をし続けるために私たちは品質保証に取り組んでいます。



Canon Quality
Safety+Smartness+Satisfaction

Safety「安全」

壊れない、怪我をしない、不具合がない

Smartness「安心」

使いやすい、デザインがいい、信頼できる

Satisfaction「満足」

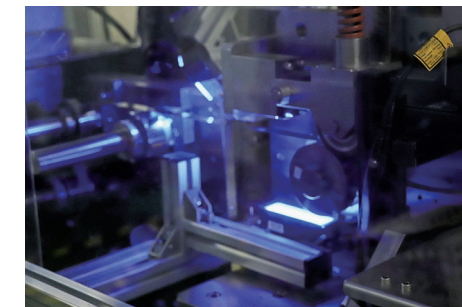
良かった、素晴らしい、ずっと使い続けたい



11

製品の品質管理を向上させる
三次元測定機

空間上の三方向の座標(XYZ)を検出し、対象の位置や形状を正確に捉え、部品の品質確認を行なっています。



12

製品品質を瞬時に検出し
日々の生産を支える
自動検査機

トナーカートリッジや、高分子精密機能部品を生産ライン上で検査を実施し、製品の品質確認を行なっています。



13

訓練された「人」の目でも些細な現象も見逃さない
外観検査

測定機器では検査し難い現象を、人の目で見て行う検査を実施し、製品の品質確認を行なっています。

事業展開

Assort

4

新たな価値への挑戦

培った材料技術の応用



光学素子塗料

レンズから入った光の一部がレンズ内面に乱反射する現象や、光学ユニットに付着したごく僅かな異物や気泡などは、鮮明な画像を求める開発者を悩ませてきました。そうした問題をキヤノン化成が生産する化学製品は解決しています。たとえば、黒色の内面反射防止塗料をレンズ端面に塗布することで、光の反射を防止したり、光学素子を安定して接着することができ、レンズの性能を引き出しています。光学機器市場において約8割のシェアを獲得しており、業界のスタンダードとなっています。今後は医療機器、自動車、VR・ARなどにも応用し、新たな価値へ挑み続けます。



〈水系塗料を塗布したカメラレンズ〉

14

環境に配慮した
水系塗料

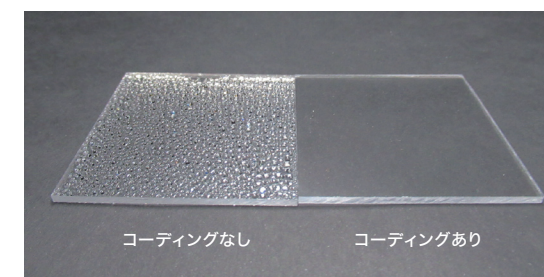
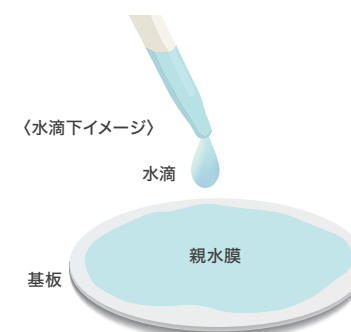
これまで蓄積した光学素子塗料の技術を活かし、環境に配慮した塗料の開発もおこなっています。具体的には、大気汚染、地球温暖化などの問題に対応するため、塗料に使用される有機溶剤を低減した、水系光学塗料の開発に取り組んでいます。

コアコンピタンスを活かした事業展開

プリンタ用精密部品や光学素子塗料の開発、製造で培われた、ゴム、樹脂などの様々な材料に関する知見や配合技術そして、製造に関する知見を活かし、従来とは異なる用途へ展開する製品開発を進め、医療用分野へのアプローチも開始しています。キヤノン化成の製品は、機能材料の設計・調合技術や加工技術に加えて高度な分析・品質管理によって、多くのユーザーのニーズに応えています。

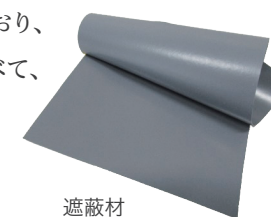
親水塗料

塗料の新たな応用分野として、光学機器の性能向上を目的とした多機能コーティング材料の開発を進めています。その中核となるのが親水塗料です。親水塗料は超親水性による防曇・防汚効果を発揮し、表面に水分が均一に広がることで曇りを防ぎ、汚れの付着を抑制します。これにより、カメラレンズやセンサーの視認性を大幅に向上させることが可能です。



医療用遮蔽材

新たな分野への展開の一つとして、医療用分野への部材提供を進めています。プリンタ用精密機能部品で培った、樹脂、ゴムへの顔料の高充填、高分散技術を活かしたX線遮蔽用材料は、医療用の診断装置などに採用されており、従来から使用されている鉛に比べて、環境面での負荷が小さい特徴を持っています。



遮蔽材

高度な材料技術の応用



樹脂ペレット

原料ゴム

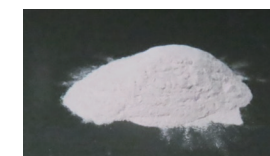


顔料・染料

3Dプリンター用セラミックス粉末材料

キヤノン化成は、レーザービームプリンター（LBP）で培ったトナー技術を応用し、金属3Dプリンター（LPBF方式）による造形が可能なセラミックス粉末の材料事業へ参入を進めています。この材料は、従来加工が困難とされていたセラミックスにおいて、複雑形状の成型を可能にし、用途の可能性を大きく広げることが期待されています。

今後、航空機関連部品や半導体製造装置部品など、多くのユーザーニーズに応えていきます。



3Dプリンター用セラミックス粉末材料



3Dプリンター用セラミックス粉末材料を使用した造形物

人材育成

Assort

5

多様性ととも に
新し い価値創造を生み出す

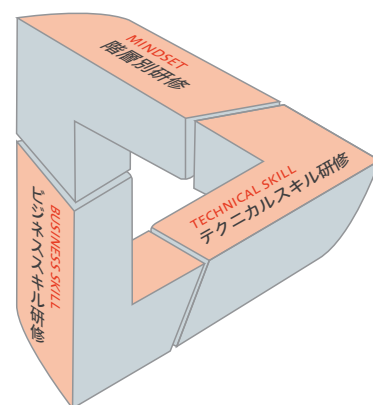


いきいきと仕事に取り組める環境と文化

キャノンならではの先進性とアイデアに富むものづくり、そして、新たな試みへのチャレンジ意欲は充実した人材育成からはじまります。常に新しい価値創造に向けて、前向きな姿勢を持ち自分の考えや行動で状況を切り拓けるような人材の施策を推進しています。

15 キャリア形成支援

「キャリアは自ら創るもの」
というのがキャノングループの基本的な姿勢です。これを踏まえつつ、キャノン化成では社員のキャリア形成を積極的にサポートしています。



定期入社者新人育成ローテーション



新入社員研修後に生産実習を行い、先輩社員と二人一組で仕事を学び（人材育成ファミリー制度）経験を積んでいきます。安心して働ける体制が整っています。また、生産実習後は、複数の部門を経験し、幅広い視野の習得や人脈形成を行った上で、本人の意向や適性を考慮しながら正式配属されます。

職場上司によるキャリア面談／社内公募／キャリア相談窓口



定期的に上司と部下がキャリアに関する面談を行い、社員一人ひとりに応じたOJTや教育計画を共に考えていきます。また、社員自らのキャリア形成を積極的に支援するため、社員自らが希望する仕事にエントリーできる「社内公募制度」や「キャリア相談窓口」も設置しています。



16 人材育成

企業を支える根幹は「人」です。キャノン化成では、職場での仕事、研修を通じて、社員一人ひとりを成長させていく環境を構築しています。

自己啓発支援



通信教育費用の補助制度や各種資格取得の促進など自己啓発支援も積極的に推進しています。業務知識はもちろん、語学、IT・パソコン、財務・会計、一般教養など多彩なラインナップを揃えています。

階層別研修



新入社員研修をはじめ、役割・役職などの階層ごとに実施する階層別研修を行っています。研修内では将来の夢やキャリアについて、社員がいきいきと語り合っています。また、次世代リーダーの育成にも力を入れており、若手社員や女性社員も積極的に受講しています。

DX推進への取り組み

DX

キャノン化成は「DX認定 取得事業者」認定企業として、ものづくりのDX基盤を加速させながら、製造業の効率化・生産性や品質の向上を目指し、さらなるイノベーションに向けて積極的に推進をしています。

選択型研修



職場に必要な技能を身に付ける研修も用意されています。コミュニケーション力や指導力を鍛える「ビジネススキル研修」や図面や装置に関する「専門スキル研修」も行われます。講義形式の研修の他、キャノン株式会社と連携して、e-Learningも多数用意されています。



福利 厚生

Assort

6

いきいきと働ける環境
社員一人ひとりの多様性

13



キャノン化成では、福利厚生施設の充実を図り、社員がいきいきと働きやすい環境の整備を行っています。また、年間を通じてさまざまなイベントを実施し、社員のワークライフバランス支援につなげています。



食堂

社内コンビニ

施設



リフレッシュルーム

ユーティリティールーム



親子見学会

納涼祭

イベント・プロジェクト



いきいきJOBプロジェクト

手話講座

一人ひとりが活躍できる環境づくり

キャノン化成は、「子育て企業サポート」企業として、「くるみん」の認定を受けています。育児休業制度や育児短時間勤務制度、時間単位休暇制度など、子育てと仕事の両立を支援する環境をはじめ、障がい者を含めた、若手からすべての年齢層にとって働きやすい環境を整え、社員一人ひとりがいきいきと活躍できる会社づくりを進めています。

健康 経営

Assort

7

守るための健康経営
社員の元気を

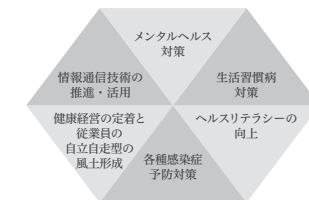


社員のこころとからだが元気なこと。社員を大切にすること。そこが当社の原点です。「安全なくして経営なし」の会社理念のもと、個人の幸福の一部であり会社の資源でもある「健康」を守り育てる環境づくりを推進しています。

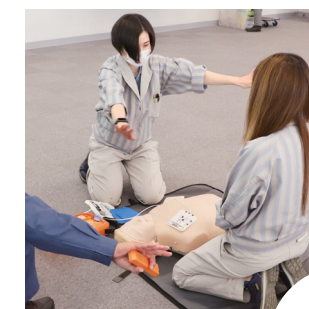


健康

キャノン化成は、「健康経営優良法人」企業として従業員の健康保持・増進の取り組みを経営的視点から戦略的に実践することを重点課題に挙げています。



14



キャノン式OSHMSの導入

自主的な安全衛生管理を進め、労働災害の防止や定期的な避難訓練、火災や地震等の有事の際に迅速な応急処置ができる訓練など全員参加の安全衛生管理活動を行っています。

安全



サステナ
ビリティ

Assort

キャノンの企業理念「共生」

キャノンの企業理念は「共生」です。共生とは文化、習慣、言語、民族、地域などあらゆる違いを超えて共に働き、互いに尊重し、幸せに暮らす社会をめざすというものです。キャノン化成では、社員が一体となり次世代に引き継ぐことのできる持続可能な社会を目指し、地域に根差した様々な活動に取り組んでいます。

生物多様性

当社は、自然環境や生物多様性が将来の持続可能な社会にとって重要な基盤であることを深く認識し、保全に向けた行動を推進しています。

気候変動

気候変動は現在、私たちが直面している最も深刻な環境課題の一つです。2050年には製品ライフサイクル全体でのCO₂排出量をネットゼロにすることを目標とし、カーボンニュートラルに向けた活動にも積極的に取り組んでいます。

8

次世代につなぐ環境活動
地域とともに

社員一体型の環境活動

社員が積極的に活動を展開するCSR・環境コミュニケーション分科会活動をはじめ、地域のイベントや小学校で体験教室やリサイクルを題材にした、楽しく学べる環境授業を実施しています。さらには地域環境美化活動、地域支援活動などにも社員が一体となり、活動を推進しています。



構内で育った「フクロウ」



Bird Branch Project

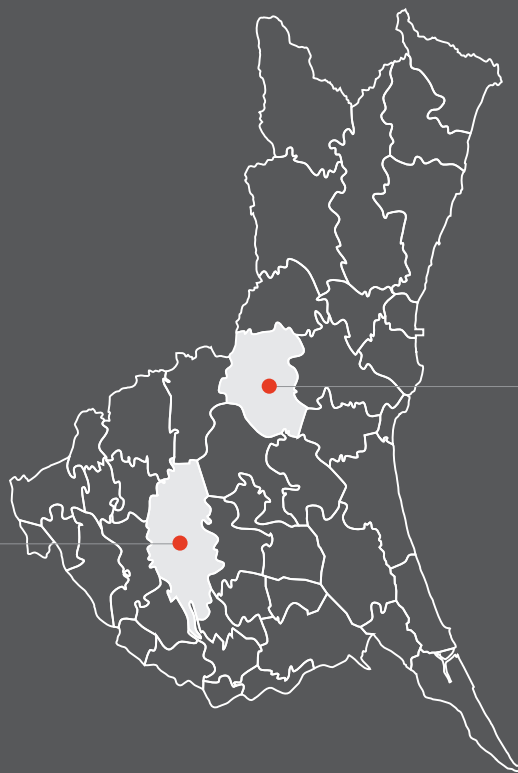
敷地内に生息する
絶滅危惧Ⅱ類の「キンラン」

Minimum Energy 360

「全方位（360°）で使用するエネルギーを最小化する」を合言葉に、生産装置の効率化や製品の輸送手段・輸送方法の最適化など、生産活動のあらゆる場面におけるエネルギーを最小化することを目指しています



IBARAKI



〒300-1294
本社・筑波事業所
茨城県つくば市荃崎1888-2
Tel 029-876-2111

Canon Chemicals Inc.

名 称 キヤノン化成株式会社
設 立 1950年5月17日
代表者 代表取締役社長 久保 敦史
資本金 57億円



<https://kasei.canon/>



〒319-0206
岩間事業所
茨城県笠間市安居2600-36
Tel 0299-45-8111

技術とともに歩み続ける。

